

玄海原子力発電所使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力変更等の概要

使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）の貯蔵余裕を確保するため、3号機の使用済燃料プールの貯蔵能力を変更する。

また、3号機の原子炉容器上部ふたの取替えに伴い、蒸気発生器保管庫の保管対象物の変更及び共用化を行う。

1. 使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力変更

3号機の使用済燃料プールの貯蔵能力を増強するため、使用済燃料プールのラックセル間距離を縮小するとともに、未臨界性を確保するため、ラックセルの材料に中性子を吸収するほう素を添加したステンレス鋼を使用する。

また、3号機の使用済燃料プールを4号機と共用化する。

(1) 使用済燃料プール貯蔵能力の変更

使用済燃料プール		現 状	変更後
3号機		1,050体	1,672体(622体増強)
内訳	ピット (A)	504体	836体(332体増強)
	ピット (B)	546体	836体(290体増強)

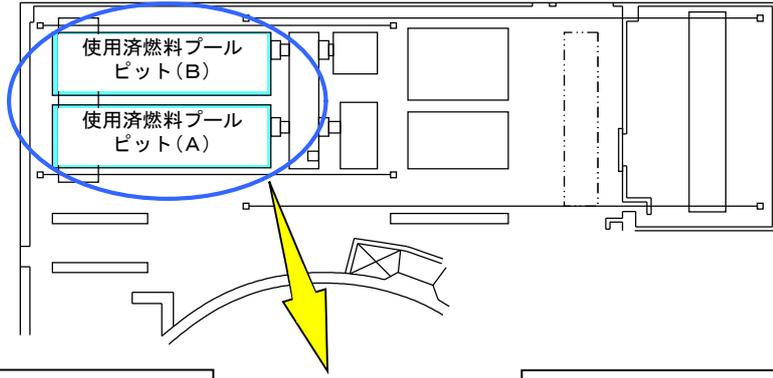
(2) 使用済燃料プールの共用化

	現 状	変更後
3号機	3号機燃料を貯蔵	3,4号機燃料を貯蔵

2. 蒸気発生器保管庫の保管対象物の変更及び共用化

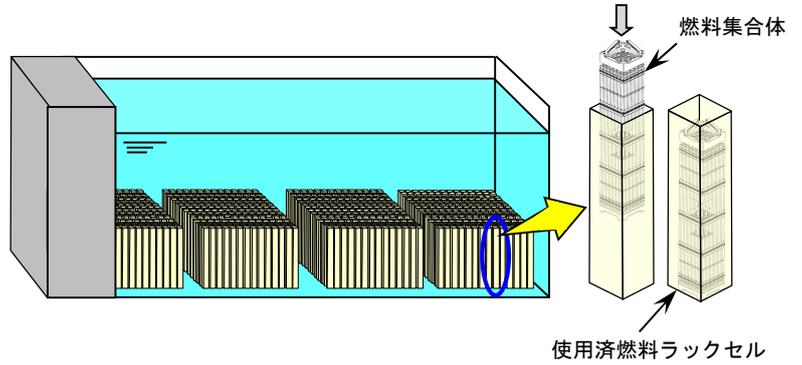
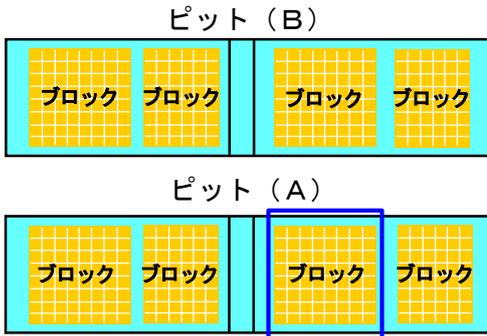
3号機では、更なる信頼性向上のため、予防保全として国内外の知見を踏まえた、最新設計の原子炉容器上部ふたに取り替える計画であり、取り替えた旧原子炉容器上部ふたを発電所敷地内の既設の蒸気発生器保管庫（1号機及び2号機共用）へ保管するため、保管対象物の変更、並びに1号機、2号機及び3号機の共用化を行う。

【使用済燃料貯蔵設備貯蔵能力増強概要図】



使用済燃料プール平面図

使用済燃料プール立体図



	現 状	変更後
使用済燃料ラックセル間距離の縮小		
	材質	ステンレス鋼